

広告特集 BICYCLE

自転車駆りめぐる、都市生活!

その時、街を知るための乗り物としての、自転車の素晴らしさを実感できる。もちろん、どんな土地のどの街であっても。

文学と歴史に彩られた風景はみずみずしい自然に抱かれる

新旧の街並みが背中合わせで接するコントラストの妙は、都心ならではの趣。同じ思いをお持ちの方も多いだろうが、文京区白山を中心とするエリアも、大通りから一本入るだけで石畳の路地に懐かしさを感じさせる風景が見つかる。

漱石に、一葉に、光太郎に、地図を眺めただけで明治の文豪ゆかりの地に視線がとまるのもこの辺りの特色だ。道の二つに落ち着きあるゆるやかな時間を感じるのは、そつした連続と流れる歴史の息遣いが刻印された街だからだろう。自転車であちこちにたたくつづられた歴史の一場面へイマジ

ネーションを広げるのもいい。「徳川家ゆかりの」などという枕詞がばがつか名勝にも恵まれる。

豊かな森に抱かれた小石川植物園を出すまでもなく、文教地区でもあるこのエリアは緑に恵まれみずみずしい空気を感じることが出来る。閑静な街並みに木々や花々が美しく溶けこんで、かすかなにおいまでもが心地よい。地形的に見ると山と谷が続くこの付近は、当然ながら坂も多い。しかし、ここでご紹介した自転車の機能性があれば、快適な坂道散策も可能だ。坂の途中で由緒ある寺や威厳ある老木と出合えるのも、歴史に彩られた白山小石川千石かいわいならではの味わいだ。

自転車で巡る都市生活。それは、思いがけない風景や歴史、忘れていた風物との出会いに満ちている。知らなかった街も、いつの間にか大好きな街に変わってしまう不思議な心から感じてほしい。



モデルルームに出かけて、
自転車を当てよう!!

BICYCLE URBAN LIFE プレゼント!!

- 対象商品
コラテック/SHAPE WAVE4(48サイズ)
★対象のモデルルームにつき1台 計3名様
※色はお選びいただけませんのでご了承ください。
- 応募方法
対象のモデルルームにお出かけの上、ご応募ください
※応募の詳細は各モデルルームにより異なります。
- 対象物件
◎レヴィ亀戸
◎クレヴィア文京白山
◎THE TOWER KOISHIKAWA
- 対象期間
2009年9月17日(木)~23日(水)
各モデルルームの営業時間内
- 当選発表
発送をもって替えさせていただきます。

※賞品は当特集広告主の提供です。

文豪たちの息遣いと
豊かな文化の香りに誘われて。

<p>12. 占春園</p> <p>樹木が茂る中、階段状の園路が静寂感漂う池へ下っている。 ◎文京区大塚3-29</p>	<p>11. 印刷博物館</p> <p>さまざまな体験を通して、印刷の役割や可能性を発見できる。 ◎文京区水道1-3-3</p>	<p>10. 湯島天満宮(湯島天神)</p> <p>学問の神様、菅原道真公を祭る。樹齢250年といわれる木曾檜を使った社殿は、りんとした表情にあふれ、しばし見とれる。 ◎文京区湯島3-30-1</p>	<p>9. 鐘坂</p> <p>名前の由来はかつて鐘(馬具の1つ)の製作者の子孫が住んでいたから、あるいは坂の形が鐘に似ているからと伝わる。 ◎文京区本郷4-20と31の間付近</p>	<p>8. 樋口一葉終焉(しゅうえん)の地</p> <p>小説家・歌人として活躍した樋口一葉の旧居跡。「にぎりえ」「たけくらべ」など数々の代表作がここで執筆された。 ◎文京区西片1-17-8</p>	<p>7. 弥生式土器発掘ゆかりの地碑</p> <p>明治17年、このあたりの貝塚で縄文式土器と異なる赤焼きのつぼが出土。地名をとって弥生式土器と命名された。 ◎文京区弥生2-11</p>	<p>6. 異人坂</p> <p>明治時代、東京大学の外国人教師の官舎があり、その多くがこの坂を使った。 ◎文京区弥生2-13付近</p>
<p>5. 夏目漱石旧居跡</p> <p>「吾輩は猫である」の舞台となった、通称「猫の家」。 ◎文京区向丘2-20-7</p>	<p>4. 須藤公園</p> <p>起伏に富む地形を生かした園内では、楠の巨木が緑豊かに生い茂り、滝の水が藤棚のある池に流れ込んでいる。 ◎文京区千駄木3-4</p>	<p>3. 高村光太郎旧居跡</p> <p>詩人・彫刻家として活躍した光太郎のアトリエがあった。 ◎文京区千駄木5-22-8</p>	<p>2. ファーブル昆虫館「虫の詩人の館」</p> <p>「虫の詩人」ファーブルと南仏の自然文化を紹介。ファーブルの生家を再現した展示や昆虫標本などが見られる。 ◎文京区千駄木5-46-6</p>	<p>1. 六義園</p> <p>江戸時代の庭園。広大な池を彩る秋の紅葉が特に美しい。 ◎文京区本駒込6</p>		

URBAN LIFE

自然のにおいや歴史の一場面がそこに

下町の文化をじっくり味わえる
寺社や史跡が続く街並み

自転車のスピードも、ついゆるみがちになるような、しみじみと温もりある風景が広がる下町。長い歳月を重ねた市井の店舗に、たまらない風情があふれ、朱色の鳥居が昔ながらの路地になじむ。そんな街並みを道草しながら、亀戸から錦糸町、そして両国へと走ってみよう。このかいわいには、江戸や幕末の生き生きとしたドラマを伝える史跡や荘厳な寺社の出会いがあちこちにある。まさにあのころにタイムスリップしそうな気分だ。

都心は意外な発見に満ちている。そしてそれは、自転車で巡るとなお楽しい。一度巡れば、もうそこは自分の遊び場だ。魅力あふれる2つのエリアへ、自転車に乗って出かけよう！

例えば自転車で北斎通りを両国方面に走ってみるだけで、街路灯に飾られた葛飾北斎の浮世絵がちよっとした江戸情緒にひたされてくれる。相撲のモニュメントで演出された両国といいい、下町らしい街の個性を楽しむには絶好のエリアが広がる。交通渋滞などを加味すれば、自転車は「都内最速の乗り物」といつてもよい。芥川龍之介の大正へ、田河水泡の昭和へ、横綱力士碑の江戸へ。史跡巡りを通して一気にタイムスリップする感覚も楽しい。

木場を越えれば、そのすぐ先は東京ベイエリア、晴海だ。空の青さが徐々に広がって、ほおをなでる風はいつの間にか潮風に変わる。低地の東京湾沿岸が下町エリアなのだから海に近いのは当然なのだが、自転車だとその近さがよりはつきりと分かる。街の空気の変化を体で感じながら走れば、お気に入りのエリアはどんどん広が



下町情緒にひたったあとは、
透明な潮風を浴びて走ろう。

4. 乾燥木材工芸資料館

木の温かみや手作りの魅力を多くの人に広めるため開設。木製品を通じて、木材の有効活用や木を愛する心を伝えている。
◎墨田区錦糸2-9-11(乾燥木材工芸ビル内)

3. HANEKAME'92

その名の通り、翼の生えた3匹の亀はインパクト十分。今にも飛び立ちそうな躍動感あふれる姿が人気を呼んでいる。
◎江東区亀戸2-21(亀戸駅前広場公園内)

2. 亀戸銭座跡

江戸時代初期に銅銭「寛永通宝」を鑄造していた亀戸銭座の跡地。
◎江東区亀戸2-6

1. 亀戸大根之碑

幕末から大正にかけて、亀戸の特産品として栽培された「亀戸大根」の記念碑。江東区で最も古い香取神社内にある。
◎江東区亀戸3-57-22

12. 晴海ふ頭公園

客船ターミナルに隣接し、レインボーブリッジなどが望める。
◎中央区晴海5

11. かちどき 橋の資料館

勝開橋をはじめ隅田川の橋について、貴重な資料や関連情報を展示・公開している。
◎中央区築地6丁目地先(築地市場勝どき門横)

10. おさかな普及センター資料館

パネルなどを使って、魚介類や築地市場に関する情報をわかりやすく紹介。
◎中央区築地6-20-5
東京都中央卸売市場築地市場内

9. 横綱力士碑

江戸勲進相撲発祥の地・富岡八幡宮内に建つ歴代横綱を顕彰する碑。新横綱誕生の際に、刻名式が行われる。
◎江東区富岡1-20-3

8. 清澄庭園

日本情緒あふれる回遊式庭園。多くの野鳥が飛来する。
◎江東区清澄2-3

7. 田河水泡・のらくろ館

国民的人気漫画「のらくろ」と、江東区育ちの作者・田河水泡にまつわる品々を展示。休館日は第1・3月曜日。◎江東区森下3-12-17(森下文化センター1階)

6. 両国花火資料館

隅田川花火大会を中心に、模型や映像を通して江戸情緒漂う花火の歴史や芸術性を知ることができる。
◎墨田区両国2-10-8

5. 「芥川龍之介生育の地」碑

文豪・芥川龍之介が、幼少のころから学生時代にいたる青春時代をこの周辺で過ごしたことを記した記念碑。
◎墨田区両国3-22-11先

※おさかな普及センター資料館には自転車置場はありません。ご了承ください。